

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第17週(ARIのみ第16週)の発生動向

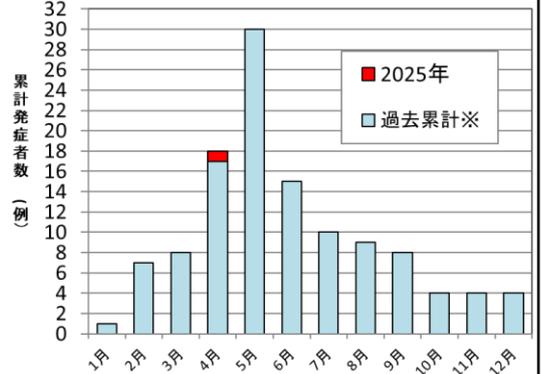
トピックス

・**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**(全数報告の感染症)
延岡保健所管内から報告があった。患者は80歳代の男性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計118例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	26	44	32	7

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2024年まで

全数報告の感染症(17週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。
- 3類感染症：報告なし。4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病1例。
- 5類感染症：アメーバ赤痢1例、梅毒1例、百日咳98例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			50歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		日向	90歳代	男	肺結核	血痰
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	80歳代	男	—	発熱、神経症状、下痢、血小板減少、白血球減少
	つつが虫病	宮崎市	70歳代	男	—	嘔吐、ふらつき
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	50歳代	男	腸管外アメーバ症	肝膿瘍、右胸水
	梅毒	小林	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群						症状	
				0~4歳	5~9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代		50歳代
5類	百日咳	宮崎市	32例	1	3	24		1	3	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタック、ウーブ、嘔吐、白血球数増多	
		都城	20例		6	14					
		延岡	9例		3	5			1		
		日南	13例		2	9		1			1
		小林	3例		1	1	1				
		高鍋	10例		1	9					
		日向	10例		1	9					
中央	1例			1							

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・第17週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は357人(定点当たり22.9)で、前週比81%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎であった。また、第16週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,751人(定点あたり62.5)で、前週比115%と増加した。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は23人(0.8)で、前週比58%と減少した。年齢群別では60歳以上が全体の約4割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

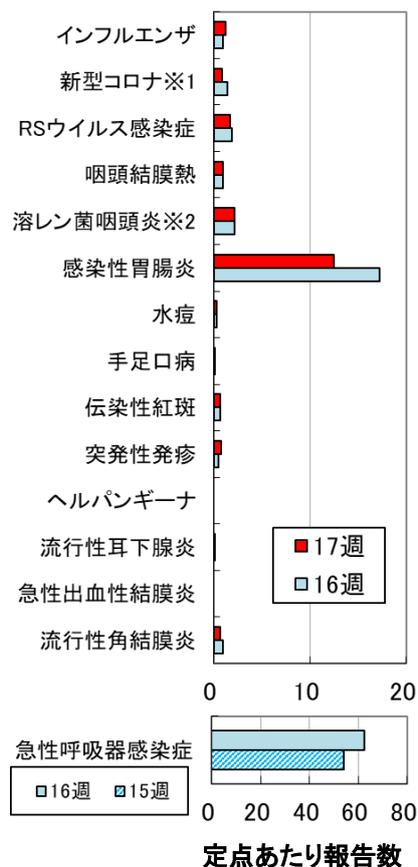
報告数は32人(2.1)で、前週比97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約0.8倍であった。年齢群別は2歳から3歳が全体の約3割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は187人(12.5)で、前週比72%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.0)の約1.3倍であった。年齢群別は1歳から4歳が全体の約4割を占めた。

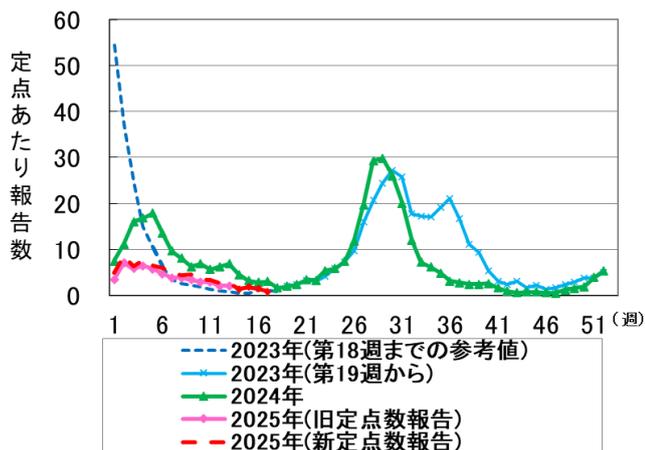
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》



※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

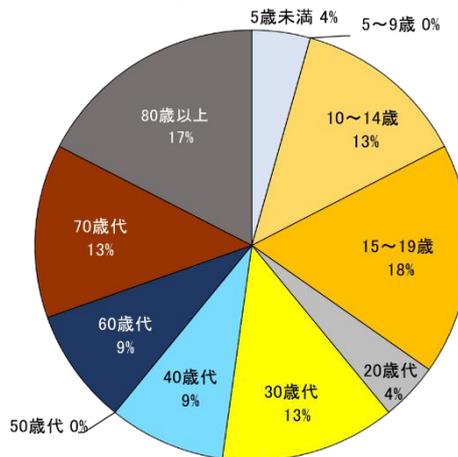
新型コロナウイルス感染症 発生状況



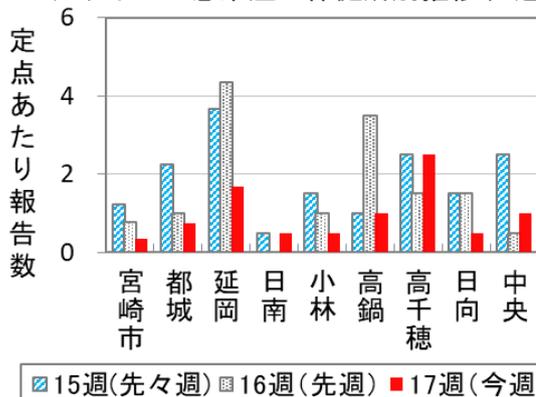
※2025年(新定点数報告)の第14週までは、新定点医療機関数をもとに算出した参考値

※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

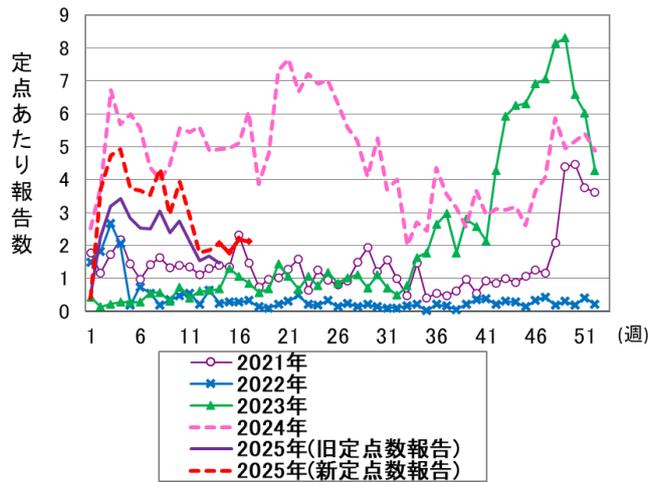
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第17週)



新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

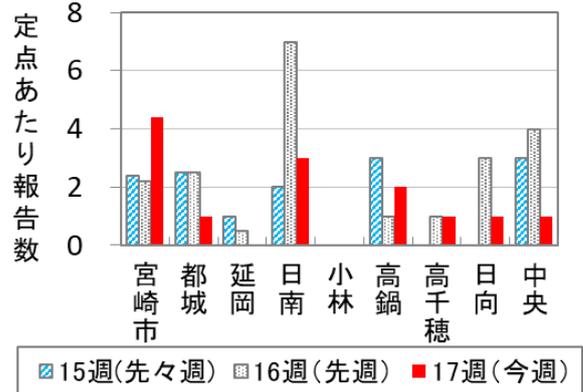


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

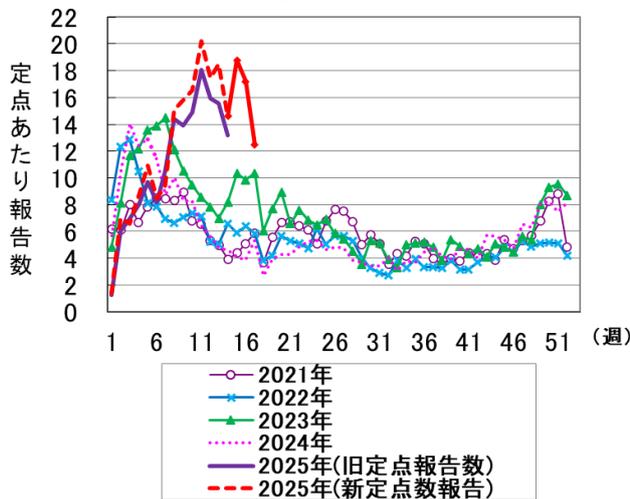


※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)

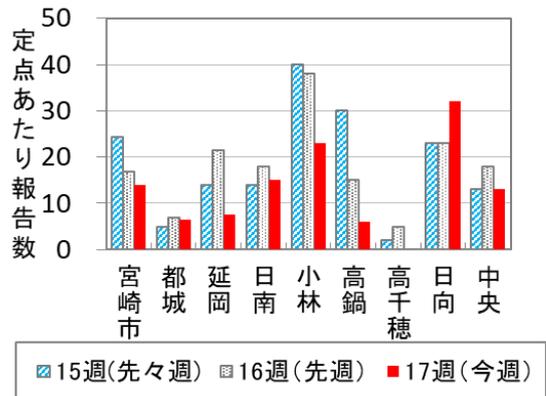


感染性胃腸炎 発生状況



※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、日南保健所から報告があった。年齢は5～9歳であった。

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は10～14歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は4例(定点当たり0.6)で、いずれも宮崎市保健所から報告があった。年齢は10～14歳が2例、0～4歳が1例、70歳以上が1例で、病原体の群別はいずれも不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(23.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(32.0)
中央	伝染性紅斑(4.0)

※ 流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※ 流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2025年第16週:4月14日～20日採取分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	1
		山形系統	0
新型コロナウイルス		0	
RSウイルス	A型	0	
	B型	1	
パラインフルエンザウイルス	1型	1	
	2型	0	
	3型	0	
	4型	1	
ヒトメタニューモウイルス		1	
ライノウイルス		4	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		7	
受付検体数		16	

- 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

- ※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例
 ※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2025 年 4 月 28 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> (血清型不明)	5～9歳	女	2025.04.07	下痢、発熱	便	2025.04.11

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Respiratory syncytial virus B	0～4歳	女	2025.03.03	急性気管支炎、38.9℃、咽頭炎	鼻汁	2025.04.28
Influenza virus B (Victoria Lineage)	10歳代	男	2025.03.26	インフルエンザB型、38.5℃、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2025.04.28

✚ 全国 2025 年第 16 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	213 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	28 例		
4類感染症	E型肝炎	16 例	A型肝炎	2 例	エキノкокクス症	1 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	4 例	日本紅斑熱	5 例
	レジオネラ症	24 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22 例	後天性免疫不全症候群	13 例
	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	21 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	65 例	水痘(入院例)	13 例	梅毒	205 例
	播種性クリプトкокクス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	1884 例
	麻しん	5 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 105%と増加した。急性呼吸器感染症の報告数は前週比 115%と増加した。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 6,852 人(1.8)であった。新潟県(5.0)、山梨県(3.6)、徳島県(3.2)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 3 割、15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 20,169 人(8.5)であった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.5)の約 1.3 倍であった。愛媛県(18.2)、宮崎県(17.2)、大分県(16.7)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2025年 第17週(04月21日～04月27日)

疾病名	第16週	第17週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	27	35		1	21			13		
	定点当り	0.96	1.25	0.00	0.25	7.00	0.00	0.00	6.50	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	40	23	3	3	5	1	1	2	5	1
	定点当り	1.43	0.82	0.33	0.75	1.67	0.50	0.50	1.00	2.50	0.50
RSウイルス感染症	報告数	28	25	11		4		4	2	1	3
	定点当り	1.87	1.67	2.20	0.00	2.00	0.00	4.00	2.00	1.00	3.00
咽頭結膜熱	報告数	15	15	12				2			1
	定点当り	1.00	1.00	2.40	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	33	32	22	2		3		2	1	1
	定点当り	2.20	2.13	4.40	1.00	0.00	3.00	0.00	2.00	1.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	258	187	70	13	15	15	23	6		32
	定点当り	17.20	12.47	14.00	6.50	7.50	15.00	23.00	6.00	0.00	32.00
水痘	報告数	4	5	4		1					
	定点当り	0.27	0.33	0.80	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	2	2	2							
	定点当り	0.13	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	10	10	4		1	1				4
	定点当り	0.67	0.67	0.80	0.00	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	4.00
突発性発しん	報告数	8	12	3	1	5	2	1			
	定点当り	0.53	0.80	0.60	0.50	2.50	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1								1
	定点当り	0.13	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	6	4		1	3					
	定点当り	1.00	0.67	0.00	0.50	3.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数		1				1				
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1	1							
	定点当り	0.14	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	5	4	4							
	定点当り	0.71	0.57	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2025年 第16週(04月14日～04月20日)

	第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1517	1751	443	109	230	115	324	78	143	211
	定点当り	54.18	62.54	49.22	27.25	76.67	57.50	162.00	39.00	71.50	105.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～17週 保健所受理分)

2類感染症	結核	41例(4)									
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例								
4類感染症	E型肝炎	2例		A型肝炎	1例		重症熱性血小板減少症候群	1例(1)			
	つつが虫病	8例(1)		日本紅斑熱	1例		レジオネラ症	2例			
5類感染症	アメルバ赤痢	2例(1)		ウイルス性肝炎	1例		急性脳炎	2例			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例		後天性免疫不全症候群	2例		侵襲性肺炎球菌感染症	14例			
	水痘(入院例)	1例		梅毒	43例(1)		播種性クリプトコックス症	1例			
	破傷風	1例		百日咳	551例(98)						

()内は今週届出分、再掲